



自治会ニュース

in 尾張旭市

令和4年3

☐

●自治会等活動促進助成事業の中間報告会を行いました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、Zoomを使用し接触を避ける等、対策をとりながら報告会を実施しました。令和3年度自治会等活動促進助成事業では5団体の自治会等が選定されており、事業実施（実施中）の報告を受けました。

●自治会等活動促進助成事業の紹介

令和3年度は、5団体の自治会等から地域交流、防災、環境等の様々な分野から申請がありました。事業内容は下記のとおりです。今後の地域活動の参考にしてください。

また、今回の中間報告会の動画を市ホームページに掲載しております。裏面のQRコードよりご覧ください。

旭台自治会：「仲間で気づき・組織で支援」のまちづくり（3年目活動）

【実施内容】



高齢者の、「生活力・地域における支援要」などの理解・共有をまち活動として重視し、中核となる「女性交流・活動」により、「支援側考え方共有や受け皿育成」を進めました。具体的には、①健康体操の継続実施支援と活動の中心を「健康福祉部と民生委員」に設定、②高齢者に伴う、健康生活力などを理解し活動目的を共有、③実施で得た内容で、改善・推進の必要な課題を、「まちづくりテーマ」に提案しました。

霞ヶ丘自治会：コロナ共存時代の自助努力支援

【実施内容】



自助努力支援をテーマに、防災活動、設備インフラの整備、環境整備等を行いました。防災委員会を中心に、意識改革からスタートするため、市役所危機管理課の講習を受けました。災害時に必要となる、避難袋や救急箱を配備し、防災ボランティアのグループLINE、自治会役員会のグループLINEを構築させ、意思の疎通をスピーディーに行えるようにしました。

樋越町内会：資源ごみ置場の改善（第四集会所軒下）



【実施内容】

集会所軒下の資源ごみ置場について、ルールを守らず、回収ごみではないごみ（たばこの吸殻、金属類等）が、随時、持込まれていました。防火の面から大変心配であるため、POP を活用し、町内会員及び不特定持込者へ注意喚起を実施しました。また、同時に、町内会未加入者にもごみ置場のルールを周知するとともに、町内会へ入会してもらうよう、勧誘を行いました。

山の手自治会：生活環境の改善事業



【実施内容】

ごみステーションを改善し、美化活動を行いました。まず、ごみステーションの現状を調査し、改善方法を検討しました。その後、役員だけではなく、多くの住民に参加してもらいごみボックスを作成し、設置を行いました。さらに、ごみステーションマップの作成や、利用者で輪番清掃及びごみボックスの管理を行う仕組みをつくりました。この活動を行い、約 75%のごみステーションが改善されました。

東栄連合自治会：ソーラー式防犯カメラによるごみ集積場の監視事業



【実施内容】

ごみ集積場周辺の住民の不快感軽減、集積場の衛生向上のため、ソーラー式防犯カメラを使用し、犯人捜しではなく、マナー違反を抑制する取組を行いました。3機設置し、事業の効果を町内会長へヒアリングしました。ポイ捨てをしていくマナー違反者には効果が大きく、短期間で改善される場所もありました。カメラの設置をする際は、カメラの性能や設置環境をよく確認する必要があります。と今回の活動を通して知ることができました。



尾張旭市 HP

「令和3年度尾張旭市自治会等活動促進助成事業
中間報告会 動画」はこちら！

尾張旭市自治会等活動促進助成金

検索



With コロナ！！ 感染予防の3つの習慣！！



新しい生活様式



連絡先 市役所市民活動課コミュニティ係 ☎0561-76-8126（直通）
メール：siminkatudo@city.owariasahi.lg.jp